

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成7年3月8日

事業所名：児童発達支援事業ひまわりクラブ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	0	・狭いと感じることがある。 工夫：移設が決まっている。
	②	職員の配置数は適切であるか	8	0	0	工夫：ご利用者数によっては、事務作業や教材作りをしている。
	③	事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	0	0	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	0	0	工夫：環境設定をし、何をやる場所なのか、明示している。視覚支援やTEACCH®プログラムで、“すること”を明確化している。
	⑤	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	0	0	
	⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	0	0	課題：ホームページの活用については、個人情報観の観点からも、今後の検討が必要。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	0	5	課題：費用がかかるため、外部評価を行えない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	0	工夫：定期的に学習会に参加している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	0	工夫：事業所独自の支援手順書を作成し、アセスメントしている。
適切な支援の提供	⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	0	
	⑫	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8	0	0	
	⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	0	0	

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	0	工夫：月毎に新しいテーマでの活動を検討し、マンネリ化を防いでいる。
	⑮	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	0	0	工夫：月末の5日間は、個別療育を行っている。
	⑯	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	
	⑰	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	工夫：午前と午後で終了後に振り返りを行っている。また、支援手順書や記入用紙を作成し、指導員間で共有している。
	⑱	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	0	
	⑲	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	0	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	0	
	㉑	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	0	0	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	2	3	3	課題：現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用がないため、情報収集が必要である。
	㉓	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	2	3	3	課題：現在、医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもの利用がないため、情報収集が必要である。
	㉔	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	工夫：保護者の依頼があれば、保育所等訪問を活用したり、機関連携をとらせてもらっている。また、就園、就学については、情報提供書の作成をしたりしている。
	㉕	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8	0	0	工夫：就学支援シート、サポートブック等の学習会を開催している。また、保護者の依頼があれば、情報提供書を作成している。
	㉖	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	0	無回答 1	・東区機能強化委員に来園して頂いた。
	㉗	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	0	0	工夫：園庭やトイレ等、共通スペースを活用し、園児との関係性が築けるような時間を設定している。

	⑳	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7	0	無回答 1	課題：こども部会に参加していたが、あまり意味のない会議だった為、今後の参加を検討しているところである。 工夫：子育て支援センター「イルカクラブ」で育児相談を行った。
	㉑	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	0	工夫：振り返り時に保護者と話し合う時間を設定している。
	㉒	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	8	0	0	工夫：集団療育や個別療育の振り返り時、指導員から保護者へ助言をしている。また、子ども理解のため、勉強会を開催している。
保護者への説明責任等	㉓	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	0	
	㉔	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	0	0	
	㉕	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	0	工夫：個別療育にて、保護者と話をする機会を設けている。
	㉖	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	6	・父母の会や保護者会はないが、振り返り時や学習会等で保護者同士がお話をする機会がある。 工夫：振り返りやプレイルームで保護者同士が話せる時間を設定している。
	㉗	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	工夫：電話での相談を受け付けている。
	㉘	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	工夫：おたよりを発行している。
	㉙	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	0	・徹底的に行っている。 工夫：決められた部屋でのみ扱っている。
	㉚	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	工夫：視覚支援ツールを活用している。 (おめめどう/P E C S / S C)
	㉛	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	0	2	工夫：事業所が園の中にあるという利点を生かし、セミナーの場所を提供している。
	非常	㉜	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に	8	0	0

	周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか				<p>る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各マニュアルを作成し、いつでも閲覧できるように提示している。</li> <li>・災害バッグ、さすまた等を療育室に置き、管理している。</li> </ul>
④1	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	<p>課題：防犯ベル、あかちゃんの泣き声等に対して、パニックを起こすおそれがある児童がいた為、積極的に参加できていない。</p> <p>工夫：園や法人の避難訓練に職員が参加している。また、「走る」「ぐる」等の動作を活動の中で伝えている。</p>
④2	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	0	<p>工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パーソナルシートの記入をお願いしている。</li> <li>・てんかん協会「波の会」熊本県支部の事務局で会計を行っている。</li> </ul>
④3	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	0	0	<p>工夫：医師の指示書を提出して頂き、給食室と連携をはかり、除去食を提供している。</p>
④4	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	0	
④5	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	0	<p>工夫：虐待につながりそうな案件は、支援管理者から指導を受けている。</p>
④6	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	8	0	0	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です

